



「吃音サポートブック」 アンケート調査へのご協力のご依頼

この度、金沢大学人間社会研究域学校教育系の小林宏明は、吃音のある子どもとその保護者の方向けに作成した「吃音サポートブック」（詳細は、裏面をご覧ください）に対する評価やご意見をお尋ねするアンケート調査を行います。

つきましては、研究の趣旨にご理解いただき、本調査にご協力を賜りたく、ご依頼申し上げます。ご検討の程、何とぞ、よろしくお願いいたします。

対象

- 吃音のあるお子様の保護者の方
- 通級指導教室担当の先生方
- 言語聴覚士の先生方
- 吃音当事者の方

※ いずれも18歳以上の方

調査の概要

- 調査は、Webを用いたアンケート調査（Google Formを使用）となります。調査に要する時間は15分程度です。
- アンケートでは、今回作成した吃音サポートブック及び、サポートブックに付属する吃音情報動画を閲覧、視聴いただいた上で、これらの目的や内容などについての評価やご意見を伺います。

研究責任者

金沢大学人間社会研究域学校教育系
教授 小林宏明

〒920-1192 石川県金沢市角間町
電話 076-264-5513
Fax 076-264-5510
E-mail kobah@kitsuon-portal.jp

吃音サポートブック
アンケート調査
はこちらから



https://www.kitsuon-portal.jp/supportbook/supportbook_index.html

「吃音サポートブック」について

サポートブックとは、進学や進級などで子どもを取り巻く環境が変わっても一貫した支援が継続して行えるよう、子どもの抱える困難やこれまで受けてきた配慮・支援を冊子にまとめたものです。

この度、金沢大学人間社会研究域学校教育系の小林宏明は、科学研究費助成事業（基盤研究C・課題番号21K02703）の研究助成を受け、吃音のある子どもを対象としたサポートブックを作成しました。

「吃音サポートブック」は、（1）吃音のあるお子さんの保護者向け、（2）吃音のあるお子さん（小学生以上）向けからなり、お子さんのプロフィールや家庭、園・学校、専門機関への要望や対応を記録する「吃音サポートノート[保護者版]・[子ども版]」と、吃音の基礎知識やご家庭や学校などへの対応などの情報が掲載された「吃音情報シリーズ[保護者向け]・[園・学校の先生向け]」、「きつ音勉強シリーズ」、「きつ音理解シリーズ」で構成されています。

サポートブックの構成と内容（一部）

吃音サポートノート [保護者版]

- ・ お子さんについて（好きなこと など）
- ・ お子さんの吃音について（吃音の言語症状や困っていること など）
- ・ 吃音に対する要望（園・学校への要望 など）
- ・ 吃音への対応の記録（園・学校での対応の記録 など）

きつ音サポートノート [子ども版]

- ・ わたしについて（好きなこと など）
- ・ わたしのきつ音について（吃音が出やすい音やことば、場面、きつ音で困る場面 など）
- ・ まわりの人へへのお願い（担任の先生へのお願い など）
- ・ ことばの教室の相談の記録（作戦会議の記録 など）

吃音情報シリーズ [保護者向け]

吃音とは、きつ音のある子どもの困難、きつ音のあるお子さんへの対応 など

吃音情報シリーズ [園・学校の先生向け]

吃音とは、きつ音のあるお子さんへの配慮と支援、クラスへの吃音の啓発 など

きつ音勉強シリーズ（吃音のあるお子さん向け）

きつ音ってなあに、きつ音が出る時のからだとこころ、きつ音を楽にする方法、きつ音をからかわれたら、きつ音が出にくい話し方 など

きつ音理解シリーズ（子ども向け吃音啓発資料）

きつ音ってなあに、みんなができること



3-1

記入日 年 月 日 2-4

か ひ ん かつ
書いた日 年 月 日

園への要望（幼児）

おん ひと くる か ひ ん かつ
書いた日 年 月 日
きつ音のある人を苦しめるこころの問題

〇〇歳 学年 〇〇

〇〇歳 学年 〇〇

「お子さんへの対応」の要望

あせりやイライラ
きつ音で思うようにことばが出ない時に、あせったり、イライラしたりする
なし・少し・多い・わからない

「クラスでの活動や行事への対応」の要望

よめい
言葉不安
話す前に、きつ音になる予感が出て、不安になる
なし・少し・多い・わからない

「同じクラスのお子さんへの対応」の要望

いかに、話すのをやめる
きつ音にならないために、言にくいことばを後のことばに言いかえたり、話すのをやめたりする
なし・少し・多い・わからない

〇〇歳
自己紹介
なし・少し・多い・わからない